



詰将棋にチャレンジ!!

詰将棋とは

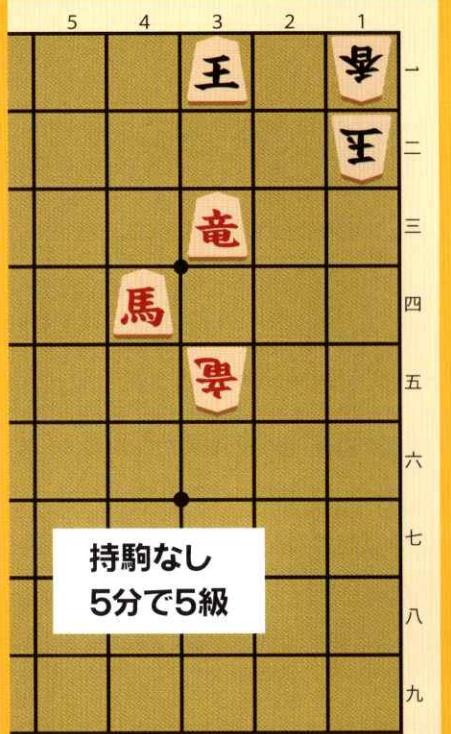
詰将棋とは、終盤を想定した少数の駒を配置し、王手の連続で相手の王将(玉将)を詰めるパズルのような問題です。

詰将棋のルール

1. 攻め方(先手)が玉方(後手)の玉を詰ますのが目的。
2. 攻め方は必ず王手をかける(玉方は必ず王手をはずす)。
3. 玉方は盤上と攻め方の持駒以外すべての駒(ただし玉は除く)を合駒として使用できる。
4. 玉方は最善を尽くし、最も長く手数がかかるように逃げる。
5. 玉方は無駄な合駒をしない。
6. その他は指し将棋のルール通り。二歩、打ち歩詰め、行き所のない駒、連続王手の千日手はいけない。



自分の王を取られないよう詰ませて下さいね!



詳しくは教室の先生にお問合せ下さい

202208

将棋から子ども達に
とって必要な要素が
たくさん学べる!!

ゼロから学べる

将棋教室

スマイル将棋

今話題の将棋を楽しく学んで
「考える力」「集中力」「精神力」「礼儀作法」が身につきます。

**初心者
でも安心!!**

動画を使って
ゼロから学ぶ
新しい将棋教室!!
将棋が全くわからなくても
大丈夫です!!



**目指せ
初段!!**

初段は柔道で
言えば黒帯!
やりがいと達成感があります!!
スマイル将棋は初段取得
が目標です!!

教室案内



最強の思考力に王手する!

今、将棋が熱い!!

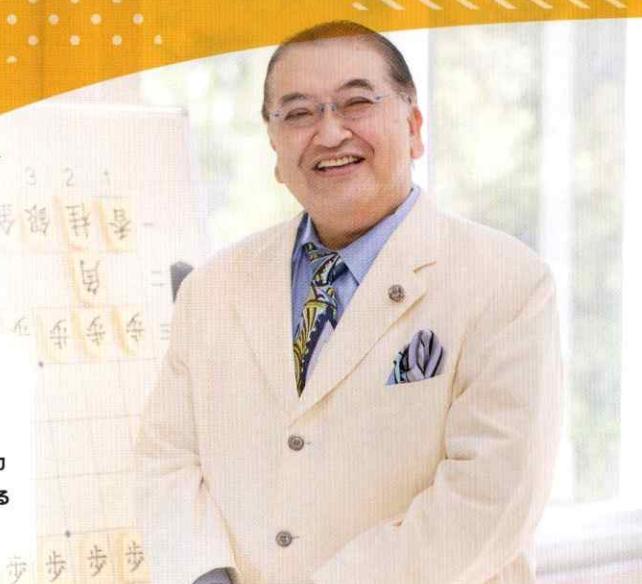
グローバル社会を生き抜く力、
対人交渉力が身に付くと評判!

藤井聰太五冠の活躍で、将棋が非常に注目されています。
将棋は何手も先を読む競技で「考えるマインドスポーツ」とも言われています。
思考力と集中力が鍛えられるということもあり、実際に我が子にも将棋をさせたい
という方も増えてきています。
一方で、昨今の核家族化・共働きといった理由で、子どもたちが将棋を教わる機会が
非常に少なくなっているということも事実です。
そこで私たちが開発したのが、「スマイル将棋」なのです。

将棋番組でもおなじみ!
プロ棋士 神吉宏充七段監修

かんき ひろみつ
師範 神吉 宏充 七段

1959年3月1日生まれ。加古川市出身。
19歳の時、内藤国雄九段の門をたたき、プロ棋士養成機関である獎勵会に入会する。
1983年24歳でプロ棋士四段になり、加古川初のプロ棋士となる。
2011年、七段で現役を引退し、現在はイベントなどを通して子どもたちへの将棋の普及に尽力
している。楽しく面白いトークが評判を呼び、プロ入り後すぐにテレビ番組の司会に抜擢される
ほど。バラエティー番組にも多数出演し、「将棋界一のエンターテイナー」と呼ばれている。



将棋で養われる5つの力

問題解決力

将棋には必ず勝ち負けが存在します。そして負けた時には「負けました」と言わなければなりません。これは自分の負けを認めるという事ですからその悔しさ、次は勝つ!という思いの中で「精神力」も鍛えられていきます。そして負けた時には、なぜ負けたのか検証する時間(感想戦)があります。それを繰り返すことで「問題解決能力」が鍛えられています。

対人交渉力

将棋は、局面ごとに80通りの指し方があると言われています。一手指すごとに局面が変わる盤上のゲームです。一般社会では、様々な場面で相手と交渉しなければいけないことがあります。相手の出方によって次の自分の出方を変えることで交渉がうまく進むこともあります。将棋に取り組むことで、想定外の変化が起こっても気丈に対処する力を身に着けることができます。

集中力

一般的にプロ棋士は三十手先まで見通すことができると言われてお
り、アマチュア初段者でも六手先まで
考えていると言われています。それ
だけ先の手を読む際に必要になるのは
集中力です。将棋に取り組むことで、何通
りものパターンを瞬時に考える集中力が身
に付きます。

コミュニケーション力

将棋は日本人らしい礼儀作法を重ん
じます。挨拶に始まり挨拶に終わる。
相手がどんな年代でも変わることはあ
りません。また、様々な年代と将棋を楽し
むことが出来ることから「礼儀作法」を身
に付けると共に「コミュニケーション能力」
が鍛えられています。

思考力

将棋は考えるマインドスポーツで
す。考えることによって次の手を作り
出し、考えることによって相手の動き
を読み、考えることによって勝負が成り
立っています。将棋に勝つ為には、自
分と相手の思考を考えないといけない
のです。そして集中することでそれは更に磨
かれていきます。最初は難しくても少しずつ
学習することで将棋を楽しみながら自然と
「思考力」と「集中力」が鍛えられています。



おき なか しょうへい
株式会社WAKA 代表取締役 沖中 尚平

将棋の素晴らしい魅力をもっと世に広げたいという
思いをカタチにしたのが「スマイル将棋」です!私自
身が初心者だった頃、当将棋教室の子供達と一緒に
学んで強くなったことを思い出しながらどうしたら
将棋をもっと楽しんで学んで貢献できるかを追求しま
した。将棋は難しい、敷居が高いとよく言われますが
ご安心下さい。スマイル将棋で学んで頂ければ将棋
ってこんなに楽しかったんだ!と必ず思って頂ける
と確信しています!ぜひ将棋の魅力と一緒に体感し
て初段を目指しましょう!!

講師あいさつ

たけどみ れい
日本将棋連盟女流棋士 武富 礼衣



スマイル将棋を受講される皆さんには、将棋の上達はもちろん、将棋を学ぶ
過程で身に付く多くのことも体感して頂きたいです!私は5歳の時に将棋を覚
えました。今と比べると将棋に関する情報量は圧倒的に少なく、練習する環
境にも恵まれていませんでした。その経験からも、ルールから学ぶというゼ
ロからのスタートが出来て、決まった曜日に授業を受けて実践まで出来ると
いうプログラムは、効率よく勉強が出来て生活にもメリハリが出ます。何より
楽しく学べるということが一番です!情報を得やすい時代だからこそそれだ
けに留まらず、覚えて実践し分析して深く考える。楽しんだり悔しんだりしな
がら次に向けて努力をして達成感を得る。何をするにおいても共通する大事
なサイクルであり一生の財産になります。ぜひスマイル将棋を通して、将棋を
沢山のお子様に楽しんで頂けることを願っています。

スマイル将棋とは？

3年間で初段を目指す将棋教室です!!

スマイル将棋は最新のICT教育を取り入れた、将棋のたくさんの魅力をわかりやすく、楽しく学びながら将棋が強くなる全く新しい将棋教室です。全く将棋を知らなかったお子様が「初段」になれるようプログラムされています。

授業の流れ

- 動画学習**（約15分）
- 確認テスト**（約5分）
- 実践対局**（約30分）

PCやタブレットを使用して動画学習と確認テストを行います。スマイル将棋の操作はシンプルですので、学校などで動画学習やタブレットなどの操作に慣れている子ども達はすぐにマスターできます。動画学習後は、実践対局で将棋の楽しさを毎回体感していきます。



1 動画学習（約15分）
まずタブレットやPCで動画学習を行います。レッスン毎に一つのテーマが設けられており、少しづつ確実に学べるようにプログラムされています。
動画は前半約5分→皆で確認作業約2分→後半約5分で構成されています。



2 確認テスト（約5分）
動画学習の後はすぐに確認テストが始まります。確認テストはクイズ形式で楽しみながら復習することができます。

また何度も行なうことが出来るので確実に学ぶことが出来ます。もちろん確認テストもタブレットやPCを使って行います。テストは10問～20問で80点以上で合格です。

☆実力差があっても安心☆
将棋は実力差がある場合、手合（ハンデ）をつけて対局が出来ます。また、1人で練習したい場合は将棋ソフトで学ぶことも出来ます。



レッスンカリキュラム

スマイル将棋はゼロから学べる将棋教室です。将棋のルールはもちろん、全く知らない子でも確実に学べるカリキュラムです。

シーズン1 【全24回】 将棋に必要な基礎知識の習得 30級～15級

シーズン1では、将棋のルールや基礎知識をしっかりと学んでいくと同時に実践経験も積んでいきます。全くの初心者でも安心のゼロから学べる内容です。まずはシーズン1で将棋の基本をしっかりと学びます。

ここがポイント！

低学年のお子様でもスムーズに将棋を学べるように「どうぶつしょうぎ」を使って学習します。

どうぶつしょうぎとは…

通常の将棋盤よりも小さい3×4の盤面で「ライオン」「ぞう」「きりん」「ひよこ」の駒を交互に動かしながら、最後に「ライオン」=「王」を取ったら勝ちというルール。

本将棋と同様に、それぞれの駒の動かし方が決まっており、特に「ひよこ」は相手陣地に入ると「にわとり」に成駒する。かわいいイラストと進める方向に「・」があるので、初めて将棋を学習するにはぴったりの教材です。

シーズン2 【全24回】 基礎知識の復習と実践慣れ 15級～10級

シーズン2では、シーズン1で学んだことを実践を通してより深く学んでいきます。基礎知識をしっかりと実践に活かせるようになることを目的としています。将棋の楽しさがどんどん深まっていきます。

シーズン3 【全48回】 戦法の習得と実践での使い方 10級～3級

シーズン3は、初級者から中級者になることを目的としています。様々な戦法を学びながら自分のスタイルを作っています。将棋の本当の楽しさがわかるようになります。このシーズンが修了する頃には子ども将棋大会で入賞を目指せます。

ここがポイント！

認定証を発行します

確認テストや実践の成績に応じて認定証が発行されます。段級認定は今のが将棋の力を数値化したものですので、取得することが一つの目標になります。スマイル将棋では30級からスタートして初段になると目標としています。※毎回認定がある訳ではありません。

30級 認定証

スマイル太郎 殿
おめでとうございます！
30級を認定します

発行日：2024年6月1日
発行元：スマイル将棋
プロ棋士神吉七段の大逆転将棋部
名前：スマイル太郎 殿

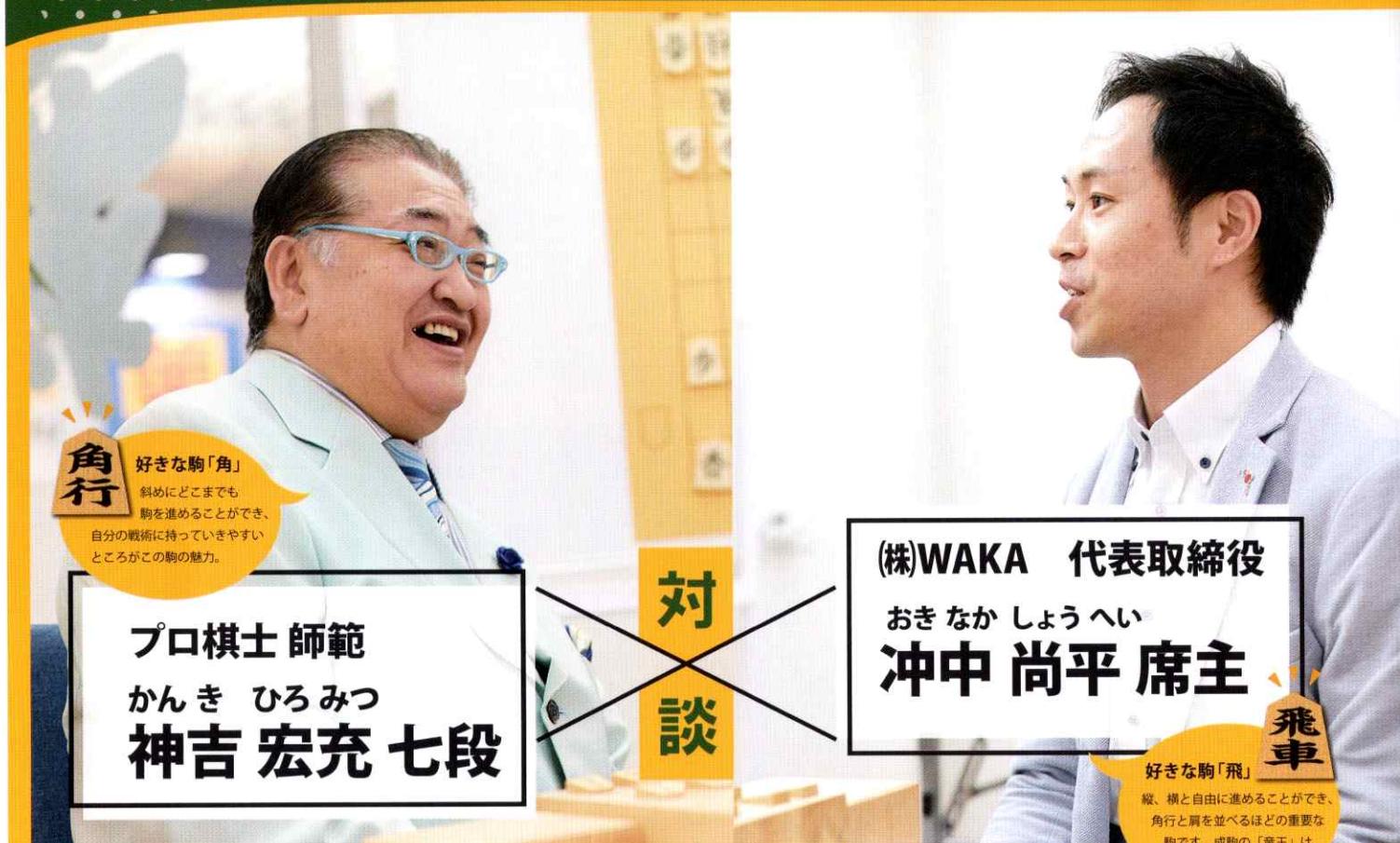
シーズン4 【全48回】 初段を目指す知識・経験を積む 3級～初段

シーズン4は、上級者への第1歩であり、スマイル将棋の目標である「初段」になることを目的としています。初段は柔道でいう黒帯です。相応の知識と経験が必要ですが、やりがいや達成感を強く感じることができます。

初段認定について

級認定（30級～1級）はスマイル将棋内で確認テストの成績や実践成績に応じて認定を行いますが、初段認定に限り、スマイル将棋で学習した集大成として3年目（シーズン4）受講終了後に初段認定対局を実際に棋士や指導員が行います。この検定に合格する事が一つ大きな目標になります。検定に合格すると日本将棋連盟の公認を推薦させて頂きます。

将棋は相手との駆け引きがあるから、子どもが育つんです。



子どもたちが 将棋を学ぶことで 得られるメリット

将棋をやると 自然に「考える力」が身につくようになります

沖中席主：早速ですが、私たちは、子どもたちに将棋を普及させるということで活動しているのですが、子どもたちが将棋を学ぶことによって得られるメリットはどういったものがあると思われますか？

プロ棋士神吉宏充七段：メリットは、まず子どもたちに考える力を養ってもらうことができるということですね。学校の勉強の場合、与えられた課題をひたすらこなすだけながら、

将棋は考える力、つまり「思考力」「創造力」「記憶力」を養うことができるところが最大のメリットですね。もちろん“勝負”という面白さもありますね。

沖中席主：僕もそう思います。子どもたちを指導してきて感じるのですが、指導を続けていくと子どもたちに考える力がついてきているというのが良くわかります。教室に通い始めたばかりの時は、何も考えずに駒を動かすだけの子だったのが、徐々に一手一手考えるようになってきました。

プロ棋士神吉宏充七段：本当に良いことです。最初教室に来た時点では、「才能がある子」「才能をまだ見いだしていない子」様々です。才能を見出せない子は努力することで、普段の勉強にもきちんと繋がると思います。当然、才能のある子はぐんぐん伸びていき、本当に強い子はどんどん巣立ってくれますし、強くなりきれなかった子でも、この道場で将棋を学ぶことによって将棋を楽しんでくれていますし、勉強にもプラスになっていると私は感じております。

沖中席主：楽しむということは、私たちの一つのテーマです。もちろん、将棋が強くなることも大事なんですけど、やはり楽しむということも大切ですね。

プロ棋士神吉宏充七段：勉強には答えがあります。「○」「×」を瞬時に出して判断して答えがはっきりしているのですが、将棋は悪い一手を指してしまって、それを否定するのではなく、「こういった逃げ道もあるよ」と教えてあげて子どもたちにプラス思考で考えさせます。こうすることによって、自然に考える力が身に付くようになります。

負けることを認めながら、そこから頑張っていける そういう力を養えるのが将棋の素晴らしさ

沖中席主：私たちはこれまで、現場で面と向かって子どもたちに将棋を教えてきたのですが、今回業界初の将棋学習コンテンツ「スマイル将棋」を

開発しました。これは今までなかつた将棋の学習方法です。

プロ棋士神吉宏充七段：そうですね。私はこの「スマイル将棋」を当初考えた時に、昔はおじいちゃんに教えてもらったりして基本的なことを学べる場所があったのですが、現代では将棋を教えてもらえる環境が少なくなってしまいました。もちろん、パソコンでも教えてもらうことができるのですが、将棋の知識的内容が欠けた部分もあったりして将棋を誤解して覚えてしまう子も多いのが現状です。そういうのもすべて網羅してサポートしているというのが、「スマイル将棋」の良いところだと思います。

私が今、教えている子どもたちは、やはり皆さん、これは負けることの大切さも教えています。将棋というのは、やはり勝ち負けがあるんです。



今の子どもたちは、負けると何をするかというと、リセットボタンを押して電源切る。そんなやり方で負けを否定してしまう。ところが将棋というのはまず「お願いします」から始まって負けければ「負けました。」と負けを認める。勝った場合は、良い将棋をさせていただいたありがとうございました。この儀式があるんですよ。負けることを教える。これは難しいんです。どんな社会でも負けることを教えるっていうのは普通やれません。ところが勝ち負けという意味では負けることがないと強くなれない。

あの藤井聰太九段も昔は負けてよく泣いていたらしいんですね。だから、そういうことを考えると負けることを教える。全部負けるわけじゃないでしょ。そういうことは負けることを教えることによって、勝つ喜びを知ることができる。その、2つができるというのが将棋です。

子どもたちはこれから大学受験あるいは社会に出て戦っていくわけですが、その中で負けることを認めながら、そこから頑張っていける。そういう力を養っていただけるのが将棋の素晴らしさだと思います。

保護者様と生徒の声

私自身は将棋を少し嗜む程度でしたが、将棋は何となく子どもに覚えさせたら良いような気はしていました。小学1年生の息子は落ち着きがなく集中力も散漫なので将棋を学ぶことで鍛えられたらいいなと思いました。

動画も分かりやすいしテストもクイズみたいで面白い♪

娘が将棋に興味があってどうにか学ばせてあげたいと思っていました。しかしながら私も含め将棋を教えてあげれる環境が周りにはなく困っていました。そんな時にこの将棋教室を見つけてこれだ！と思い通い始めました。将棋を楽しんで学んでいる娘の姿が見えてとても嬉しいです。

色々な人と対局出来てすごく楽しいよ!!

保護者様から頂くQ&A

Q 将棋が全く分からぬのですが大丈夫でしょうか？

A ご安心下さい。スマイル将棋はゼロから学べる指導内容です。将棋のルールはもちろん、全く知らない方でも確実に学べるようプログラムされています。また、いきなり将棋は難しいので最初はどうぶつしようぎを使って慣れてていきます。

Q 対象年齢は何歳からでしょうか？

A 小学校1年生～6年生を主な対象としていますが、読み書きがある程度可能であれば5歳からでも学ぶことが出来ます。また、中学生以上も十分に学ぶことが出来ます。

Q パソコンやタブレットの操作は難しくありませんか？

A 大丈夫です。難しい操作は一切なく直感的に分かるよう簡潔化されています。また、ほとんどの文字にふりがなが表記されています。学校などでデジタル慣れしている今のお子様達ならすぐに操作を覚えることが出来ます。